

令和8年度 谷川小学校 第2回 学校運営協議会

令和8年6月19日 9:00～

場所：図書室

1 学校長挨拶

2 議題

(1) ホタル保存会について

(2) 地域防災訓練について

(3) 次回の議題について

3 連絡

・草取り計画について

・今後の会の開催について

第3回 令和8年10月15日(木) 13:00～

第4回 令和9年 1月29日(金) 12:00～

2 議題

(1) ホタル保存会について

谷川校区ホタル保存会会則

令和7年度 活動経過報告

令和8年度 谷川校区ホタル保存会活動計画

令和8年度 総合的な学習<谷川っ子タイム>全体計画

令和8年度 谷川小学校4年生(総合的な学習)活動計画案

ホタル観察カード『ホタルを見つけたよ』

※ ホタル保存会日より

・今後のホタル保存会のあり方について

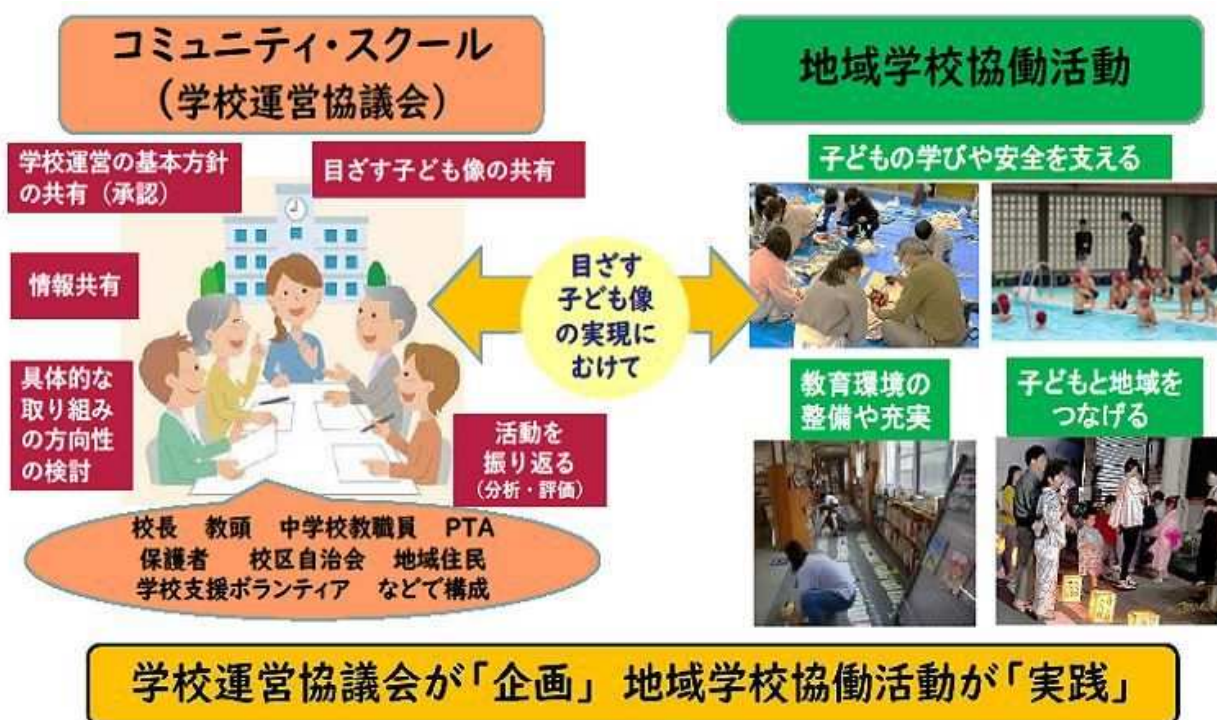
・ホタル保存会の予算について

(2) 地域防災訓練について

・防災訓練について

～谷川っ子として小学生のうちに身につけさせたいことは、何か～

(3) 次回の議題について



谷川校区ホタル保存会会則

第1章 名称及び事務局

(名称及び事務局)

第1条 本会は、谷川校区ホタル保存会と称し、事務局を谷川小学校内に置く。

第2章 目的及び活動

(目的)

第2条 本会は、谷川小学校のホタル園ビオトープの活動を支援し、ホタルが生息する谷川校区の自然を守っていくことを目的とする。

(活動)

第3条 本会は、上記目的達成のための連絡協議を行い、また、目的達成のため必要に応じて事業を行う。

第3章 組織・構成

(組織)

第4条 (1) 本会は、谷川校区自治会役員、PTA 全会員（児童保護者対象）、学校教職員及び有志をもって組織する。

(2) 本会の会員の任期は1年間とする。ただし、希望者はその限りではない。

(代表者)

第5条 本会の代表者は、校区自治会長が務める。

第4章 会費及び事業年度

(会費)

第6条 会費は一口500円とする。会費は、総会において定める。

(事業年度)

第7条 本会の事業年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

第5章 役員

第8条 本会の役員は、次の通りとする。

会長（校区自治会長）

副会長（町自治会長2名・PTA 会長・校長）

書記（PTA 副会長）

会計（教頭）

第9条 本会は、顧問を置く。顧問は前自治会長（3名）とする。

附則 本会則は平成14年6月20日より実施する。

（平成17年6月4日の総会にて、第4条（2）を付け加えた。）

（平成28年5月28日の総会にて、第4条（1）（2）、第6条を改正した。）

令和7年度 活動経過報告

1 保護活動

- 5月 9日（金） ・ホタル保存会総会
- 5月末～7月上旬 ・親子で観察
- 2月 ・ホタル保存会例会 紙面で報告
- 2月 ・ホタル保存会だより発行
- 4月～3月 ・アルミ缶回収

2 カワナ飼育活動

- 5月中旬 ・冷却水槽清掃，稼働
- ・ホタル園，準備・清掃
- 5月28日（水） ・飼育用カワナ採取

3 幼虫飼育活動

- 6月 6日（木） ・産卵箱設置
- 6月12日（木） ・人工飼育用親ホタルの採取
- 7月 9日（水） ・ホタルの幼虫確認
- 11月19日（水） ・冷却水槽，水抜き・清掃

<過去の実績>

R 7年度	204匹確認	204匹放流
R 6年度	109匹確認	80匹放流
R 5年度	確認できず	
R 4年度	703匹確認	703匹放流
R 3年度	607匹確認	607匹放流
R 2年度	73匹確認	65匹放流
R 元年度	72匹確認	65匹放流
H30年度	387匹確認	360匹放流
H29年度	294匹確認	294匹放流
H28年度	233匹確認	233匹放流
H27年度	277匹確認	215匹放流
H26年度	1170匹確認	1050匹放流
H25年度	100匹確認	50匹放流
H24年度	775匹確認	500匹放流
H23年度	72匹確認	
H22年度	1750匹確認	1350匹放流

4 調査及び学習活動

- 10月 2日（木） ・出前授業【川の話（河川課）】

1年間の活動の様子

半尻川でカワニナとり



ホタル当番



ホタル放流



令和8年度 谷川校区ホタル保存会活動計画

1 全体会の予定（年3回）

- ・総会 令和8年5月 紙面で開催
- ・学校運営協議会 6月19日（金）
- ・例会 令和9年2月 紙面で報告

2 活動内容

- (1) 保護活動・・・ホタルが飛翔する期間のパトロール、ホタル保存会だよりの発行
- (2) 幼虫飼育・・・学校のホタル園の幼虫飼育支援
- (3) 調査及び学習活動・・・豊橋市内の他地域のホタル状況観察

3 活動方法

それぞれの会員が上記3つの活動の中から、自分が参加できる活動に積極的に参加していく。

4 活動計画

- (1) パトロール・・・ホタル観察をしながら随時行う。
※PTAは親子で観察に出かけたときに、パトロールをする。
- (2) ホタル狩り・・・メスのホタルを捕獲するために半尻川へ出かける毎年6月初旬に実施。安全面を考慮し、職員で行う。

児童の実態

- 自然に対する関心や知識豊富な子が多い。
- 学年・性別の区別なくなかよく遊べる。
- 自分の思いを効果的に伝え、思いを発信することが苦手な様子が見られる。

地域の実態・特色

- 自然豊かで、半尻川や公園などで植物や生き物にかかわることができる
- 日東電工やデンソーなどの工場地帯がある
- 普門寺や神明社など、歴史のあるものがある。

学校教育目標

自信と誇りと自立心を育む教育を目指して
 生きぬく力一心と体をきたえるたくましい子
 自ら学ぶ態度—自分でよく考えすすんで勉強する子
 豊かな心—自然を愛し、自然から学ぶ子

保護者のねがい

- 友達と仲よく、楽しい学校生活をおくってほしい。
- 意欲的に学習に取り組む子になってほしい。
- さまざまな人と関われる子になってほしい。

総合的な学習<谷川っ子タイム>の時間の目標

校区の「ひと・もの・こと」と関わりながら、探究的、総合的、協同的に課題を解決し、思いやりと命を大切に自己の生き方を考えることのできる資質・能力を以下の3観点をもとに育成する。

- ①各学年のテーマに基づく課題の解決に必要な知識・技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを実感できるようにする。
- ②身近な地域や実生活の中から問いを見出し、課題を立て、多様な方法で情報を集め、整理・分析して、まとめ、表現することができるようにする。
- ③探究的な学習に主体的・協同的に取り組むとともに、自分や友達のよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

地域のねがい

- 校区の恵まれた環境を生かして思いやり、いたわりの心を育ててほしい。
- 少人数指導のよさを生かして目のゆき届いた教育をしてほしい。

低学年 生活科 年間指導計画

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
1年	【みんななかよし】 ・友達となかよし ・アサガオとなかよし		【夏となかよし】 ・シャボン玉 ・水遊び		【秋となかよし】 ・生き物となかよし ・秋と遊ぼう		【冬となかよし】 ・冬と遊ぼう		【春を探そう】 ・昔の遊び 【もうすぐ2年生】 ・昔遊びを楽しむ会（民芸教室）			
2年	【春はっけん】 ・学校探検案内 ・春の遊び発見		【わたしの町発見】 ・〇〇ってどんな町？（公園探検） ・町には発見がいっぱい（店・神社・公民館など）				【夏野菜を育てよう】 ・夏野菜を育てよう		【作る楽しさ発見】 ・おもちゃ	【自分発見】 ・自分のことをもっと知りたいな ・ありがとうをとどけよう		

わくわく学習 内容系列

学 年		3 年	4 年	5 年	6 年	
領 域		郷 土	環 境	食	伝 統 文 化	
単 元 名		われら谷川ミカンレンジャー	ホテルのすむ里 谷川	育てまい！谷川米！	ふるさと谷川、再発見！ 将来の夢や生き方を考えよう	
地域教材（ひと）		*みかん農家	*ホテル保存会	*地域ボランティア	*地域ボランティア	
（もの）		*みかん園	*半尻川 *ホテル	*米 *田んぼ	*普門寺	
（こと）		*農業			*二川本陣祭り	
探 究 課 題		校区の特色としてのみかん栽培を通して郷土への愛情を深める	ホテルの飼育を通して、環境や命を大切にする心情をはぐくむ	体験活動を通して、お米の大切さや農家の方々の努力・苦勞を知り、人間性をはぐくむ	郷土に対する愛着を深め、大切に守っていこうとする気持ちをはぐくむ	
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識技能	知 識	校区のよさや校区のすてきな人の存在と思いを知る	校区の川の現状と川をきれいにする方法を知る	米作りを通して、米のよさや大切さを知る	地域の伝統を支える人の努力や心情を知る
		技 能	工夫しながらみかん栽培に取り組むことができる	ホテルの幼虫を育てることができる	工夫しておいしいお米を育てることができる	地域の伝統を大切にすることができる
	思考力・表現力等	課題の設定	身近な校区に関する課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法を明確にして調査計画をたてることのできる		地域社会に広く目を向けて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てることのできる	
		情報の収集	人に聞いたり、図書資料やICTを活用したり、現地に行き確かめたりして、必要な情報を集めることのできる		校区の人や専門家に聞いたり、実体験をしたり、図書資料やICTを活用したりして、多角的に情報を集めることのできる	
		整理・分析	集めた情報を地図や表、グラフなどに表して整理し、そこから特徴や課題の答えを見出すことのできる		集めた情報を適切な思考ツールで整理したり、グラフ化したりして、課題を解決しようとするところまで	
	まとめ表現	レポートや新聞、ポスター等でわかったことや知らせたいことをまとめたり、学習会で伝えたりする		パワーポイントや台本を作成して発表したり、新聞等にまとめたものを市民館に掲示したり校区回覧したりする		
	学びに向かう力・人間性等	主体性協働性	学級やグループの仲間と、力を合わせ、協力して課題を解決しようとする		身近な実生活・実社会の問題解決に、学級やグループの仲間、専門家や校区の大人と協働して進んで取り組もうとする	
自己理解他者理解		探究活動の中で、自分や友達の意見や考えにそれぞれのよさがあることを知り、学び合おうとする		探究活動を通して、自分のよさや他者のよさを受け入れ、尊重しながら協働して学び合おうとする		
将来展望社会参画		校区との関わりの中で、自分にできることを見つけ、実践しようとする		地域とのかかわりの中で、地域に依頼・提案することと自分にできることを検討し、実践に移そうとする		

メ
デ
イ
ア
リ
テ
ラ
シ
ー

情
報
活
用
の
力
向
上

学 習 活 動	指 導 方 法	指 導 体 制	学 習 の 評 価
・校区の実態、児童の実態を踏まえて校区の<ひと・もの・こと>を生かした価値ある探究課題を設定する ・多様な人々と協働して解決する	・子どもの思考に寄り添った単元構想のもとですすめる ・人との関わり、実体験を重視する ・各教科との関連を重視する	・地域教材「ひと・もの・こと」バンクを充実させ、日常的に関わる ・校外学習の安全確保のため、学習ボランティアの組織を整える	・ポートフォリオを活用し、個人内評価を重視する ・キャリアパスポートを活用 ・座席表（発言・ふりかえり）の累積

地
域
教
育
力

【ひと】・地域ボランティア ・ホテル保存会 ・みかん農家さん ・お米農家さん
 【もの】・みかん ・みかん園 ・ホテル ・ホテル園 ・半尻川 ・米 ・田んぼ ・普門寺
 【こと】・二川本陣祭り ・農業

令和8年度 谷川小学校4年生（総合的な学習）活動計画案

※ホタルに関する内容のみ記載

1 仕事内容

- ・ホタル園の世話、保護及びPR活動をする。
- ・ホタルについて疑問に思ったことなどを調べ、まとめる。
- ・半尻川、梅田川の水質調査を実施する。
- ・ホタル保存会例会（2月）で、1年間取り組んできたことを紙面発表する。

2 今年度の重点目標

- (1) ホタル園の水路の管理や幼虫飼育ができるようにする。
- (2) 各自が観察や調査をしていく中で疑問に思ったことなどを調べ、解決していく。
- (3) 校区ホタル保存会と連携して活動できるようにする。

ホタル保存会だより



令和8年2月 谷川校区ホタル保存会事務局

令和7年度のホタルの飼育は、4年生11人が中心となって行ってきました。5月に半尻川にカワニナを採取しに行き育てることで、ホタルの飼育に備えました。ホタルが舞い始めたころ、本年度も職員で親ホタルを採取し、5匹のメスと8匹のオスを産卵箱に入れ、飼育を始めました。産卵・孵化を観察し、ホタル園の冷却水槽で育てました。水温管理をしたり、カワニナの餌(キャベツやメロン)を与えたりして大切に世話をしました。カワニナとホタルの幼虫の観察を行い、2~3 cmほどに育った幼虫204匹をホタル園と半尻川に放流し、本年度の活動を終わりました。来年度も谷川校区にホタルがたくさん舞う幻想的な風景が見られることを期待します。



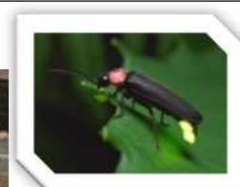
【本年度のアルミ缶収益金】

11月現在

～今年度の主な活動～

- 5月 9日(金) ホタル保存会総会
- 5月中旬 ホタル園, 準備
冷却水槽清掃, 稼働
- 5月28日(水) 飼育用カワニナ採取
- 6月 6日(木) 産卵箱設置
- 6月12日(木) 人工飼育用ホタルの採取
- 6月13日(金) ~7月14日(金) 孵化期間
- 7月 9日(水) ホタル幼虫確認
- 7月~11月 ホタルの飼育活動
- 11月17日(月) 半尻川にホタル放流
- 2月13日(金) ホタル保存会例会 紙面にて報告

アルミ缶 120 円/kg × 54 kg = 6,480 円
2 級 5 円/kg × 20 kg = 100 円
資源回収奨励金(市から予定) 540 円
アルミ缶の収益金がホタル飼育の活動資金となっています。これからもアルミ缶集めにご協力, よろしくお願ひします。



令和8年度 校区防災訓練（授業参観含む）実施計画

- 1 日 時 9月26日（土）9：30～11：30 雨天決行
 - ・当日の朝 8：15頃から校区の方、消防団が準備開始
 - ・前日の午後 校区の方や市役所の方が準備する場合あり
 - ＊準備の必要な場所が使用不可になる場合があります。

- 2 場 所 谷川小学校 運動場 音楽室 理科室 家庭科室

- 3 主 催 谷川校区自治会

- 4 参加者 校区の方々 谷川消防団 谷川小PTA 谷川小児童

- 5 日程及び内容

9：30～	9：40	開会式（運動場）
		・主催者あいさつ ・来賓あいさつ ・日程説明
9：45～	10：35	防災体験
		・水消火器放水体験 ・テントでの煙体験
		・起震車での地震体験
		・耐震転倒防止器具の見学 ・AED見学
		・発電機始動体験 ・消防車の見学
10：45～	11：30	防災講話（防災危機管理課）
		Teamsにて配信依頼（音楽室、理科室使用）

- 6 当日の児童及び職員の動き

8：45～	9：30	授業参観（各教室・防災に関する授業）
		※体育館、運動場、音楽室、理科室、家庭科室は 使用不可
9：40		運動場に通学団ごと、親子で整列完了
9：45～	10：35	親子で防災体験（各体験場所）
10：45～	11：15	児童 1～3年－振り返り記入
		4～6年－防災講話（保護者とともに）Teams
		大人 高学年保護者は教室、それ以外は音楽室・理科室
11：15～	11：30	帰りの会
11：30		学年下校

- 7 その他
 - ・当日、児童は通常通り通学班登校、11：30学年下校になります。
 - ・28日（月）は、振替休業日となります。

※字が薄くなっている部分は昨年度のもの。今後、内容などを検討していきます。

運動場の草取りについて（案）

- 1 目的 運動場の広範囲に及ぶ草を除去し、運動場を安全な環境にする
- 2 日時 令和8年10月 日（ ） 13:15～13:30 雨天順延
- 3 場所 谷川小学校 運動場
- 4 参加者 谷川小児童・PTA・校区の方々（ ）
- 5 準備
 - ・前日までにトラックにつけたつめで運動場表面の草をそぎ取る（有志）
 - *児童帰宅後の時間外で実施する
 - ・つめ一借用依頼、返却
 - ・参加者案内作成、配付
- 6 当日の流れ
 - 13:15 児童運動場整列 環境委員の指示により草取り開始
 - *PTAや校区の方々も子どもたちとともに草取りを行う
 - 各自、草取り器具を持ってきてよい(電動の草刈り機などは不可)
 - 13:28 環境委員の指示により草取り終了。
とった草は近くの青いコンテナに入れる。
 - 13:30 コンテナの草を所定の位置に廃棄する
- 7 その他